

ヒューリックホール東京 ビジネス運営マニュアル

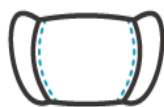
1.当施設が実施する感染防止策	2
当施設スタッフ向けの対策	3
定期的な消毒の実施	3
空調換気機能	4
当施設貸出備品	5
3.感染防止策の紹介	6
飛沫防止シート設置場所	7
喫煙所・トイレ_対策例	7
手指消毒液_配置例	8
4.イベント関係者に対する注意事項	9
注意事項(関係者)	10
5.来場者誘導・事前告知	11
注意事項	12
タイムスケジュール_例	13
開場前	14
開場の流れ	15
終演後	16
6.消毒範囲	17
夜間日常消毒範囲	18
開演後消毒範囲	19
終演後消毒範囲	20
7.感染者等が発生した場合の対処	21
来場者_入場時	22
来場者_入館後および公演中	23
関係者_入館前	24
陽性者判明時_情報公開フロー	25

1.当施設が実施する感染防止策

当施設スタッフ向けの対策

当施設では下記の対策を義務付けております。

マスク着用



スタッフ全員がマスク着用
をしております。

検温チェック



入館時に検温を実施し、発熱
者（37.5℃）は出勤停止と
しております。

手指消毒



入館時に手指消毒と定期的な
手洗い・消毒を実施します。

定期的な消毒の実施

当施設では下記のタイミングで消毒作業を実施し、安心してご利用できる
環境をご用意いたします。

日常の消毒

毎日の日常清掃時に
ドアノブ・階段手摺り・座
席肘掛け・トイレの洗面
台・便座・床など消毒を実
施いたします。



開演後の消毒

開演後から終演後の間にホ
ワイエ内の階段手摺り・ト
イレの洗面台・便座・床な
ど消毒を実施いたします。



入替時の消毒

1日2公演以上ある場合、
左記消毒に加え、ホール
内座席肘掛けの消毒を実
施いたします。



※消毒範囲の詳細につきましては、p.21～p.23に記載しております

換気量目安

厚生労働省は新型コロナウイルス感染防止策として、2020年3月30日、「商業施設等における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気について」内の資料で一人あたりの換気量の基準を示しました。資料内を要約すると「ビル管理法に定められている【一人あたり 30m³/h】の換気量で“換気の悪い空間”を避けられるが、毎時2回の室内換気を実施することがより望ましい。」としております。

但し、多くの会場では窓の設置が無いことが現状です。上記の「毎時2回の室内換気」を空調機器の機能で満たすための数値として資料内では【一人あたり 48m³/h】が必要としております。

このことから、「収容人数の調整により【一人あたりの換気量 48m³/h】を満たすことで、「換気の悪い密閉空間」を避け、感染リスクを軽減させる防止策として有効と考えられます。

一人あたりの換気量目安

48 m³/h

1時間あたりの換気回数目安

2 回

当ホールの換気量

日常的に不特定多数を集客し興行を開催する場合、興行場営業許可を取得する必要性があり、当ホールはこの興行場営業許可を取得をしております。保健所管轄の興行場法では衛生面に関わる項目で他屋内施設によりも厳しい条件を義務付けられております。空調設備も同様に高機能空調設備が義務付けられているため、他屋内施設より換気機能は優れた数値となります。このことにより、当ホールは上記の感染防止策に値する数値を大きく上回る空調換気機能を有しております。

総換気量

44,240 m³/h

一人あたりの換気量

50 m³/h

1時間あたりの換気回数

約 6 回

収容率100%（886名）の場合

※ホール常設の空調機にCO2センサーが付いており、CO2センサー1,000ppm以下になるよう常時自動調整されております

当施設 貸出備品



【消毒液ディスペンサー 2台】
自動噴霧タイプのディスペンサーです。
アルコール液もご用意いたします。



**【飛沫防止シート
天井吊下式 4枚、自立式 3組】**
受付等でご利用可能な飛沫防止シート
となります。



【消毒ディスペンサー 10台】
各控室・各トイレ前・バーカウンター
前などに常設しております。



【非接触体温計 2台】
来場者の入場時の検温にご利用いた
だけます。



【来場者用マスク 50枚】
来場者へ事前にマスク着用での来場を
告知いただいた場合に限り無償提供い
たします。



【ゴム手袋 15組】
受付等でスタッフの着用が必要な場合
は無償提供いたします。



【サーキュレーター 6台】
控室などにご利用いただけます。



【控室用飛沫防止シート 4組】
控室化粧前用仕切り用に4組の飛沫防止
シートをご用意しております。



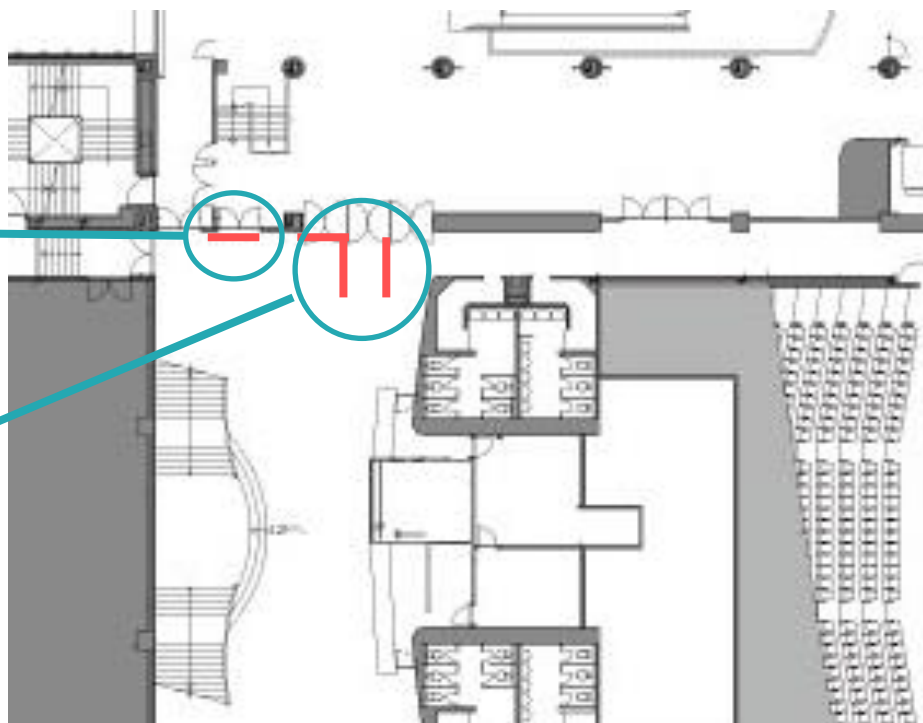
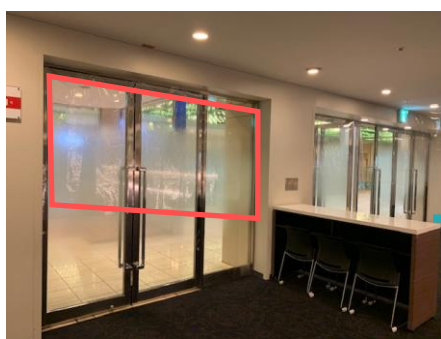
【フェイスシールド 6枚】
受付スタッフ2枚・検温スタッフ4枚を想定して
貸出いたします。(眼鏡部分は消毒し、シール
ド部分はお取替えしてお渡しいたします)



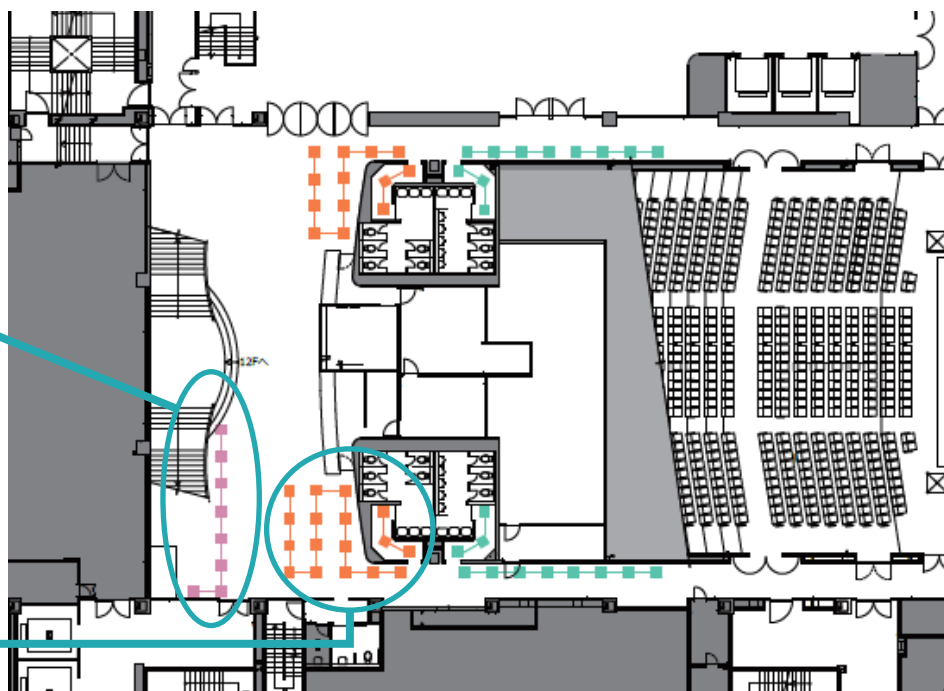
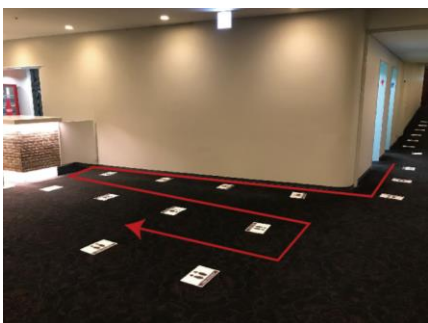
【靴裏消毒用マット】
次亜塩素酸ナトリウム(会場用意)をしみ
込ませて使用します。

3.感染防止策の紹介

飛沫防止シート設置場所

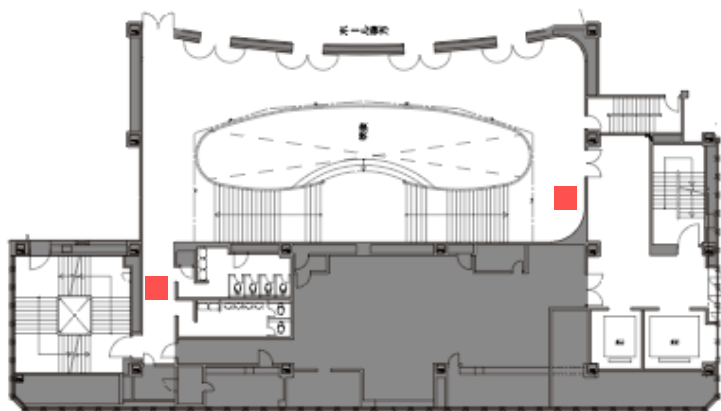
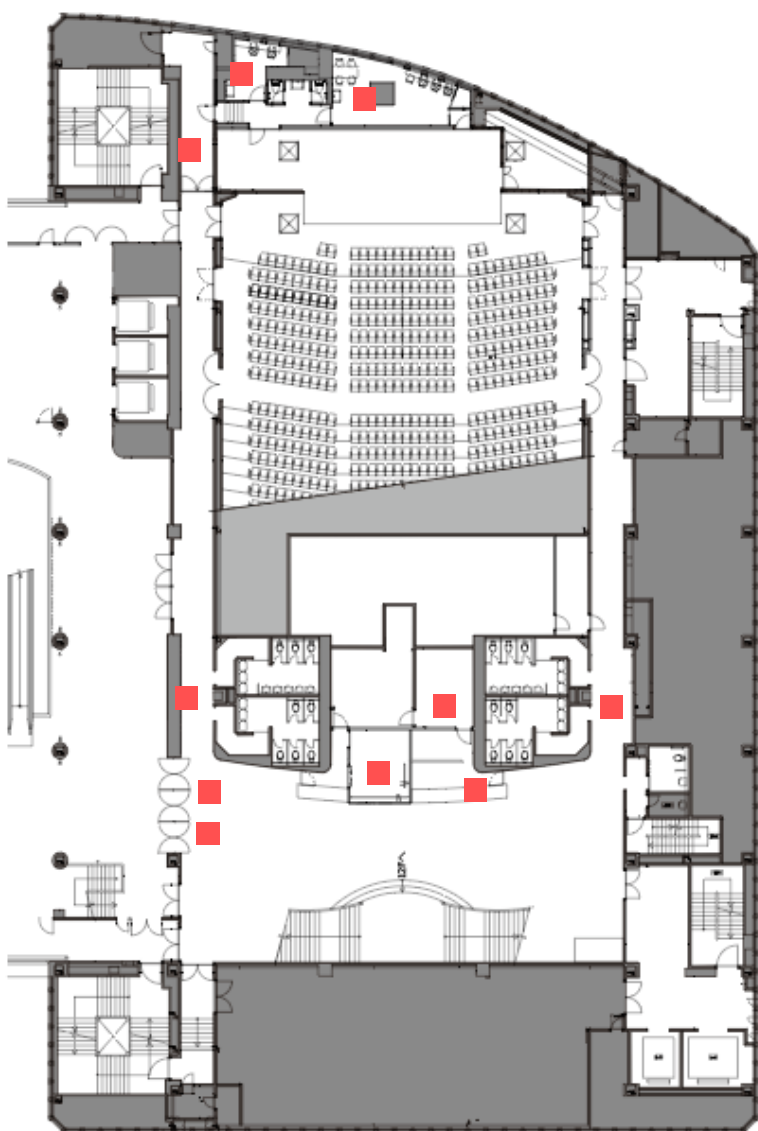


喫煙所・トイレ_対策例



手指消毒液_配置例

各所に手指消毒用の消毒液を配置しております



4. イベント関係者に対する注意事項

注意事項(関係者)

入館時

- ・あらかじめ検温スタッフを決めておき、入館スタッフの検温
→発熱(37.5℃)がある方は入館不可
- ・手指消毒、マスクの着用の義務化

控室・バックヤード

- ・所有する備品・道具等の貸し借りは原則禁止とし、貸し借りが発生してしまう場合は、使用する前と後に消毒を実施すること

ケータリング

- ・buffet形式の提供を禁止とし、予め取り分けられた飲食の提供をすること
(個包装されているものが望ましい)
- ・ケータリングスタッフは、作業の前後で手指の消毒を行うこと

舞台周り

- ・舞台上では、出演者の立ち位置を間隔をあけるなどの調整をすること
- ・十分な間隔が明けられない場合は、アクリルパネル等の設置を検討すること

喫煙所

- ・喫煙所の定員は遵守し、会話を禁止するよう注意喚起すること

※ 上記の注意事項はガイドラインより抜粋しております。

詳しくはこちら【http://hulic-theater.com/wordpress/wp-content/uploads/2020/11/covid19_guideline_hulichalltokyo20201122.pdf】
をご確認ください。

感染予防を徹底した、安心・安全な会場利用へのご協力をお願い致します。



5.来場者誘導・事前告知

注意事項(来場者)

事前告知

- ・発熱（37.5℃）がある方、新型コロナウイルス感染症の症状（咳・味覚障害）がある方、2週間以内に渡航歴がある方は来場を控える
- ・当日はマスク着用で来場する
- ・入場時に検温を実施すること、37.5℃以上ある方は入場をお断りする
- ・時間差入場、時間差退場の案内

開場前・整列等

- ・開場時間前に11Fエントランスで待機列を形成する場合、最低1mの距離を保つ
- ・待機スペースに想定以上の来場者が集まってしまった場合に備え、開場時間の30分前には開場できる状態にする
- ・開場から開演まで1時間を確保する
- ・混雑を避けるため、終演時には時間差での規制退場を実施する
→収容率50%で15～20分、収容率100%で30～40分を想定

（開場前の詳細はp.17、終演後の詳細はp.19参照）

開場・開演

- ・受付スタッフはゴム手袋を着用し、飛沫防止シートを挟んで来場者対応をする
- ・来場者には手指の消毒・マスク着用・検温を徹底してから入館させる

（開場の流れはp.18参照）

※上記の注意事項はガイドラインより抜粋しております。

詳しくはこちら【http://hulic-theater.com/wordpress/wp-content/uploads/2020/11/covid19_guideline_hulichalltokyo20201122.pdf】
をご確認ください。

次ページにて、上記の注意事項を反映したタイムスケジュール見本を紹介します→

タイムスケジュール_例

Time	主催	運営	美術・施工	音響・照明	映像	進行
9:00		9:00入り	入館時に検温・消毒・スタッフリスト作成			
30			搬入・仕込み			
10:00		表周り コロナ対策 貼紙・消毒準備 など				
30			テクリハ			
11:00			ランスルー			
30						
12:00	登壇者RH		登壇者RH			
30						
13:00	調整					
30			セッティング			
14:00	開場					
30	本番					
15:00						
30						
16:00	規制退場(45分を想定)					
30						
17:00						
18:00	撤収					
30						
19:00						
30			19: 30完全退館			
20:00						

・赤枠のエリアをメインに列を作成

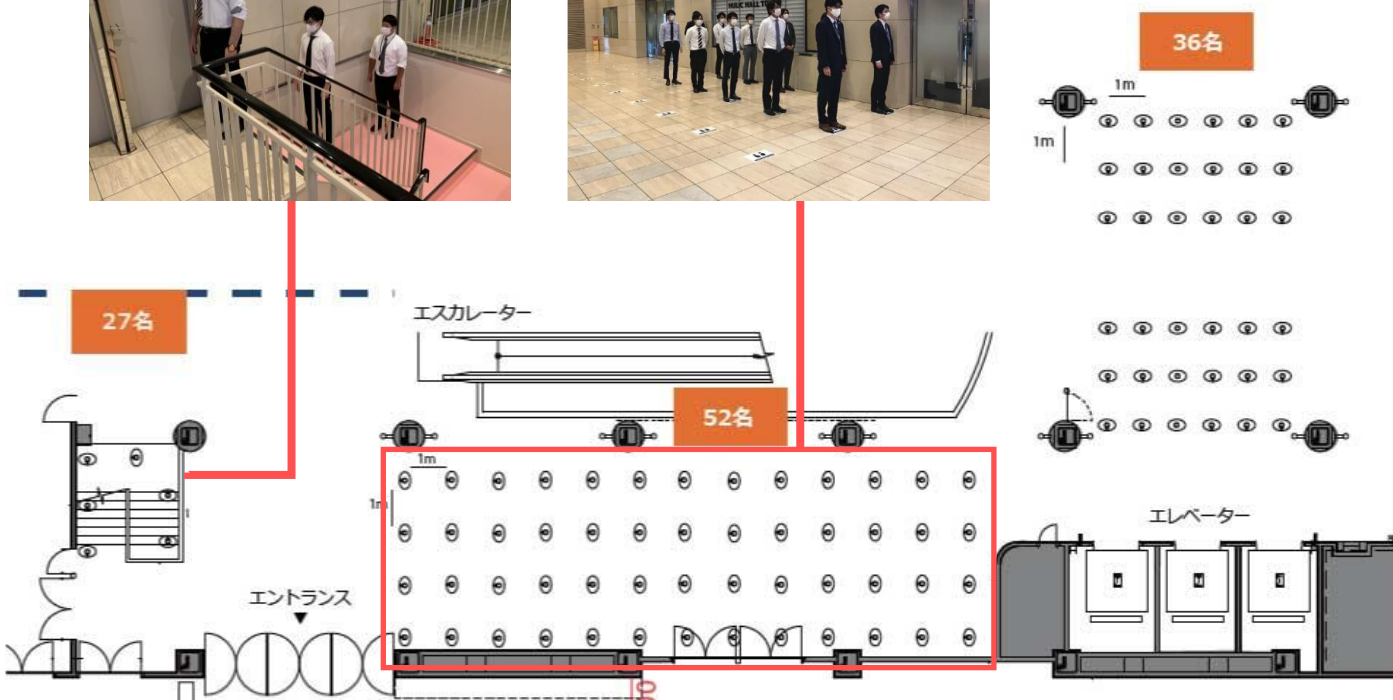
→最大39名ですので、それを超えてしまった場合は一度区切り、階段から列の続きを作成してください。

・待機列形成のため、ビル共有部に最低3名のスタッフを配置

→一定の間隔を空けた待機列、エレベーター前での滞留防止など、感染症予防対策としてソーシャルディスタンスを守る必要があります。
赤丸の位置を参考にお客さまを誘導するスタッフを配置し、ご来場のお客さまが密にならないよう整備してください。

・開場時間の30分前には開場できる状態にする

→待機列に来場者が収まらずビル共有部に溜まってしまった場合を想定し、早めにロビー開場できるような状態にしてください。
待機列にこれ以上の人が入れないと会場側が判断した場合、開場時間でなくても開場するよう指示させていただく場合がございます。



開場の流れ

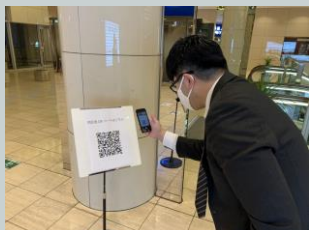
①



待機列形成

ソーシャルディスタンス(1m間隔)を保った待機列形成を行う
待機列が溢れてしまいそうであれば早めに開場し、
会場ロビーにお客さまを引き込むことで混雑を緩和させる

②



問診表記入

来場者の健康状態を把握するため、スマホで問診表を記入
また、スマホを持っていないお客さまには、紙でご記入いただく
【会場側でご提供できるサービスもございます】

③



検温

非接触体温計にて検温
37.5度以上のお客さまは入場をお断りする

④



消毒・マスク着用チェック

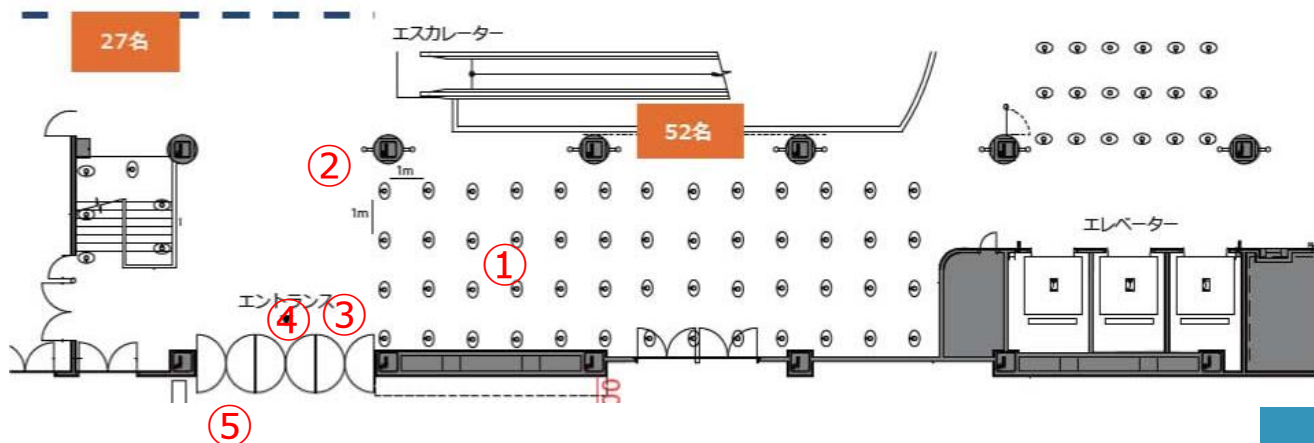
スタッフが会場備品のオートディスペンサーの側に立ち、
手指の消毒を行うよう声掛けをする
通りすぎようとする人がいたら、呼び止め消毒させる
マスク着用していない人がいたら、着用させる【会場側でご提供できます】

⑤



もぎり

チケット制の場合、受付スタッフは目視にてチケットを確認し、
もぎりはお客さま自身に行っていただく
また、受付スタッフは飛沫防止シート越しにゴム手袋を着用して対応する



・規制退場の実施

→ビル側のルールとして、エレベーター収容人数・エスカレーター利用にも規制がかかっております。

来場者が一度に全員退場してしまうと、必ず混み合います。

座席列ごとに間隔をあけた規制退場を実施してください。

(50%集客の443名で15-20分、100%集客の886名で30-40分かかる想定です)

・エレベーター・エスカレーターに誘導スタッフ(フェイスシールド着用)を配置

→ソーシャルディスタンスを保つため、ビルの共通ルールとして【エレベーター定員7名、エスカレーターは間隔をあけて1人ずつ】と定まっております。

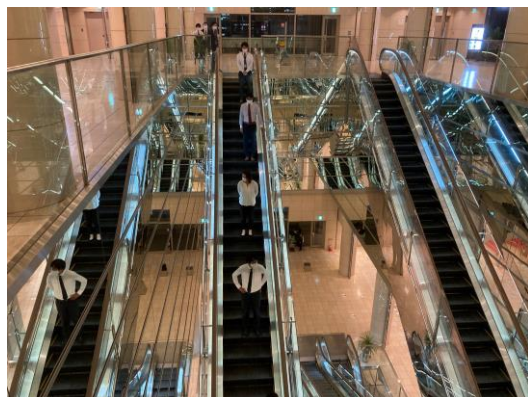
ルールを把握したスタッフの誘導が必須となりますので、列誘導1名・エレベーター2名・エスカレーター1名・全体1名で最低5名は配置してください。

エレベーター スタッフ配置例



エレベーターを待つお客さまの待機列形成、定員7名を守ったご案内をしていただきます。

エスカレーター スタッフ配置例



エスカレーターを待つお客さまの待機列形成、間隔(5段目安)を空けたご案内をしていただきます。

6.消毒範圍

夜間の日常消毒範囲



出入口ガラス扉手摺



ホール出入口扉手摺



階段手摺(11・12F)



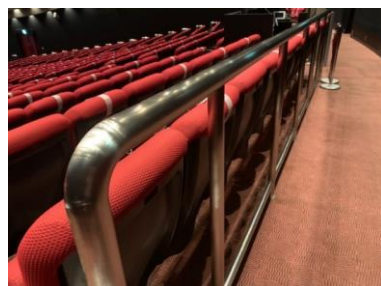
バーカウンター天板



受付台



11階通路ゴミ箱天板



ホール内手摺上部



座席ひじ掛け



喫煙所テーブル



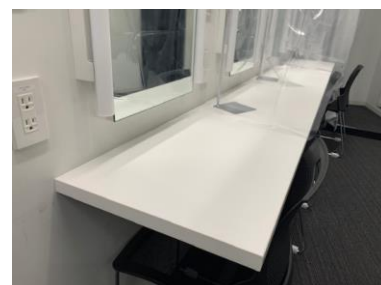
【トイレ洗面台】



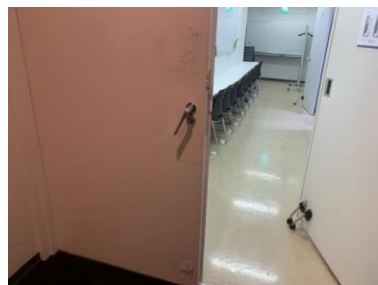
ウォシュレット操作部・便座



トイレ個室扉レバー



控室テーブル



控室各通路扉・電気スイッチ



控室洗面台(3箇所)

開演後消毒範囲



出入口ガラス扉手摺



ホール出入口扉手摺



階段手摺(11・12F)



バーカウンター天板



受付台



11階通路ゴミ箱天板



【トイレ洗面台】



丸テーブル



喫煙所テーブル

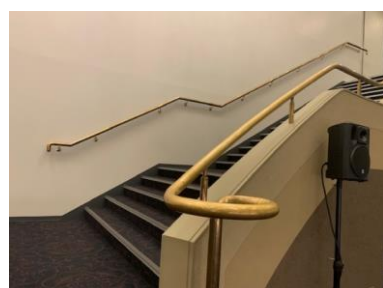
終演後消毒範囲



出入口ガラス扉手摺



ホール出入口扉手摺



階段手摺(11・12F)



受付台



バーカウンター天板



喫煙所テーブル



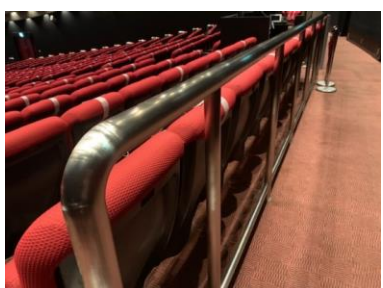
【トイレ洗面台】



丸テーブル



11階通路ゴミ箱天板



ホール内手摺上部



座席ひじ掛け

※消毒作業には、アクアサニター(微酸性電解水)次亜塩素酸水を使用いたします
※控室が施錠されている場合、控室内の消毒は行いませんので各自でお願いいたします。
※1日2回以上の公演がある場合に限り、
終演後から次の公演開場までの間に1時間ほどの消毒作業を行います。

7.感染者等が発生した場合の対処

来場者_入場時

イベント来場者に、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方が発生した場合、下記の対応お願い致します。

検温時、来場者の熱が37.5度以上ある

YES



NO

→ 手指の消毒、マスク着用の上入場してもらう。

来場者が体調不良を訴えている、もしくは具合が悪そう。

YES



NO

→ 入場はお断りする。
念の為住所地の保健所のコールセンター、
または東京都の新型コロナウイルス対策コール
センターを紹介し帰宅してもらう

入場をお断りして、新型コロナウイルス対策センターに電話をしてもらい
指示を仰いでもらう。

※来場者本人が電話をすることが難しそうな場合は、運営スタッフが
代理で電話をし、コールセンターからの指示を仰ぐ。

関連施設連絡先

東京都新型コロナウイルス対策コールセンター : 0570-550571
(9:00~22:00 土日含む)

入館後、来場者に体調不良者が現れた場合、下記のご対応をお願い致します。

体調不良者が現れた場合

図面の、クローク室・下手階段下に救護用ベッドをセッティングし、
検温してもらう

検温した結果、熱が37.5度以上ある。

YES

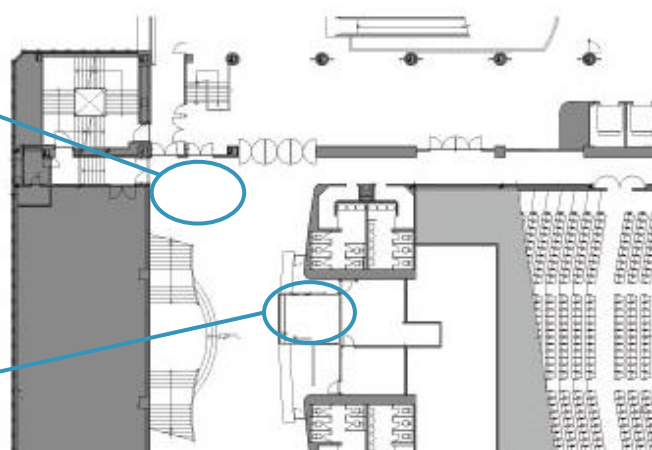
NO

来場者の体調の様子を経過観察する。
(単純な立ち眩み等の可能性もある為)

東京都新型コロナウイルス対策コールセンターに連絡し指示を仰いでもらう。
後日、本人がPCR検査を受け、陽性だった場合は会場に必ず連絡をもらう。
※当人が電話をすることが難しい場合は、イベント運営スタッフが代理で
電話をして、指示を受けること。

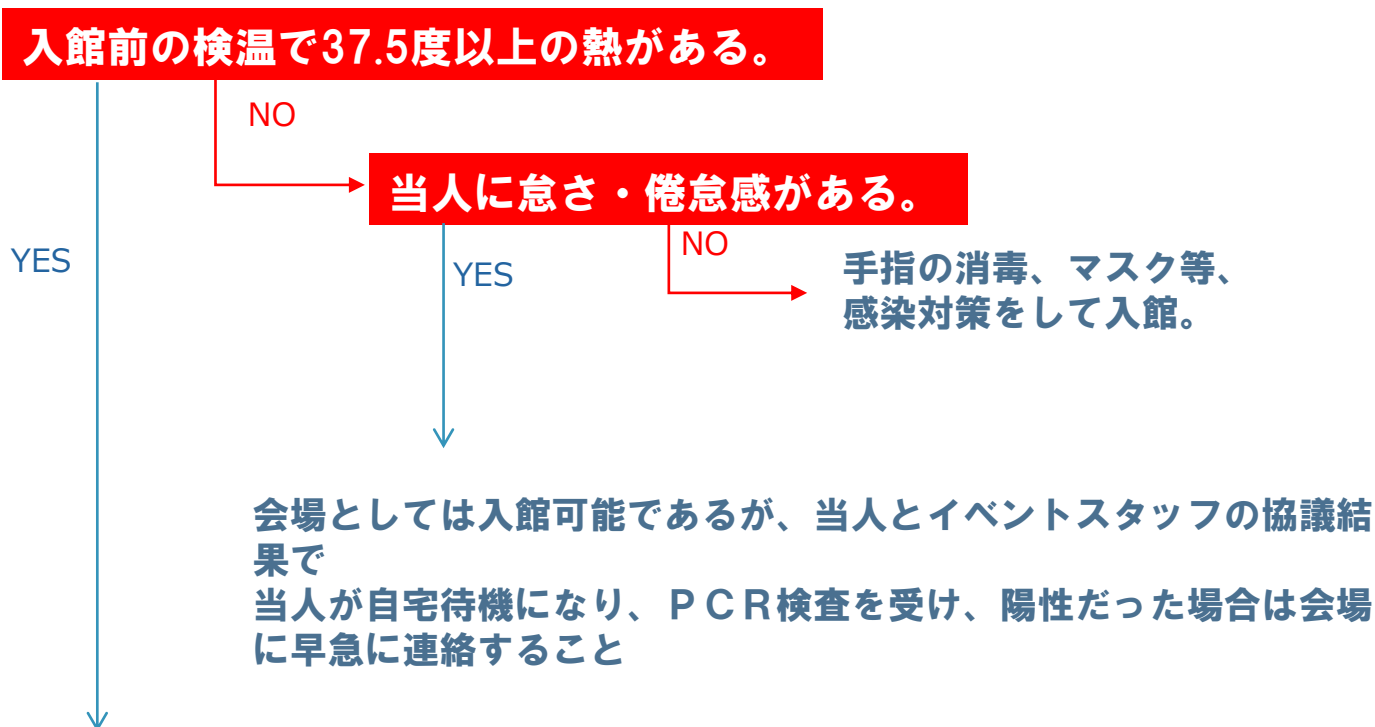
注：来場者の名前、住所、連絡先を控えるの忘れないようにしてください！

**※本人の意識がない等、緊急搬送が必要で救急車を呼ぶ場合は
事務所スタッフに報告をお願い致します。**



公演関係者の中で、入館前に体調不良者が現れた場合、下記の対応をお願い致します。

※熱がない場合であっても、マスクの着用・手指の消毒をお願い致します。



当人は、入館禁止とする。

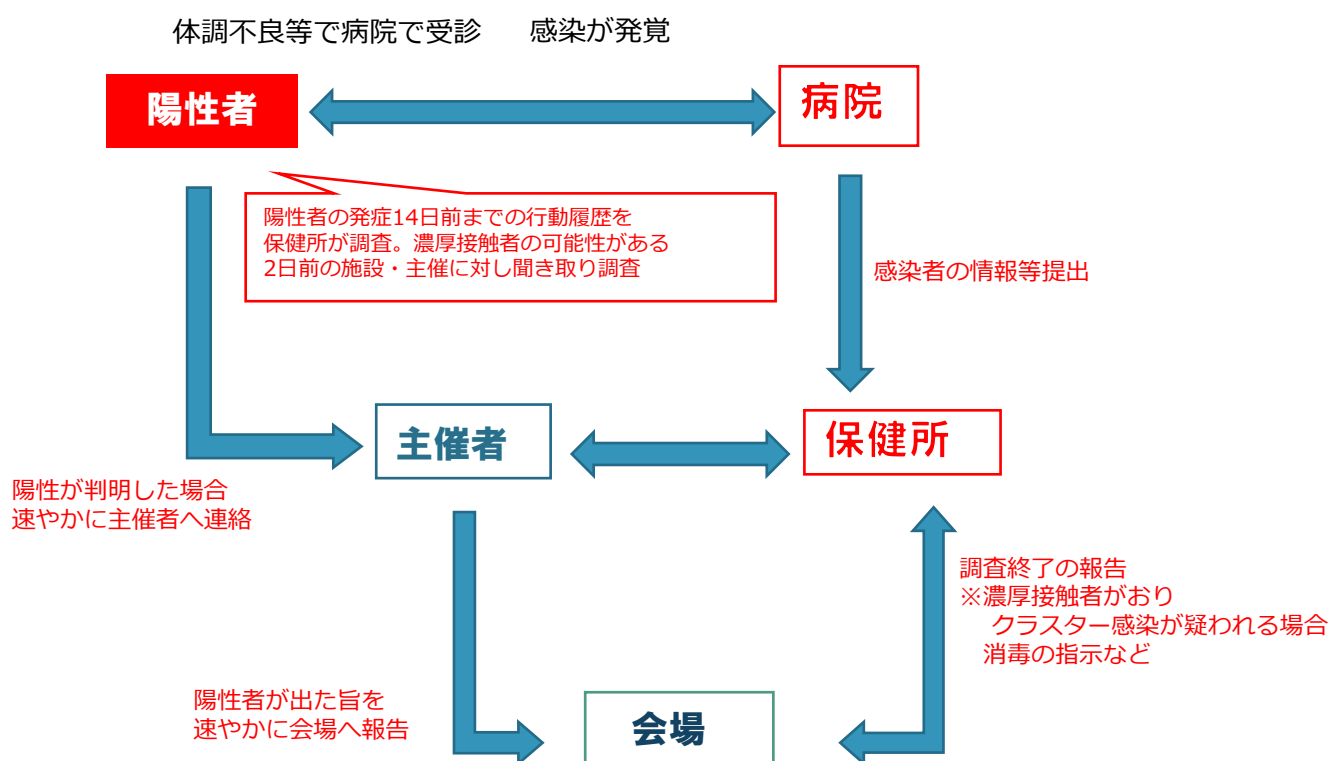
東京都新型コロナ対策コールセンターに連絡してもらい、指示を仰ぐ。

後日PCR検査を受け、当人が陽性だった場合は、早急に会場へ連絡をすること。

陽性者判明時～情報公開フロー

来場者または、関係者が新型コロナウイルスへの感染が確認された場合の連絡フローは下記の通りです。
情報公開に関しては
パターンごとにフローが異なります。パターン毎の情報公開フローは次ページを参照くださいませ。

会場利用日が感染者の発症日から
2日前までに当たる場合



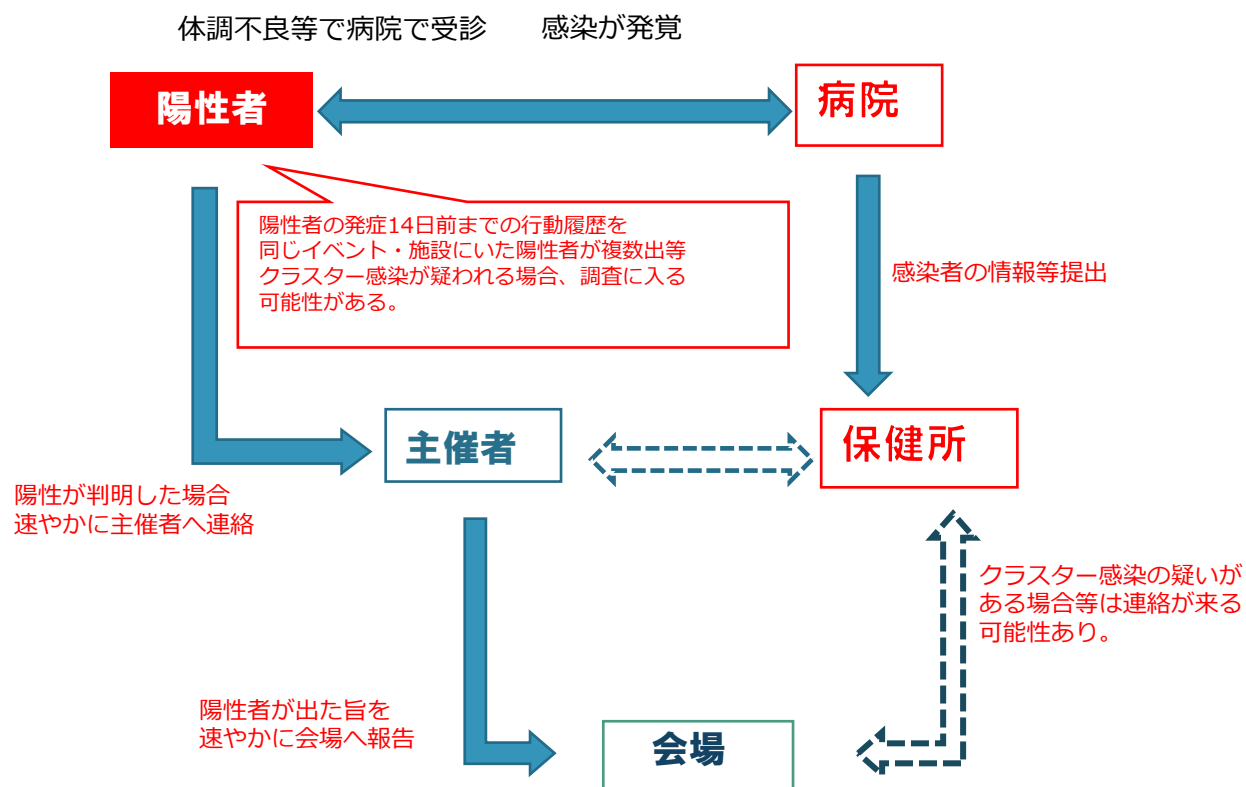
パターン①：濃厚接触者無し、クラスター感染の疑い無し

パターン②：濃厚接触者有り、クラスター感染については不明

パターン③：陽性者多数有り、クラスター感染の疑いあり

陽性者判明時～情報公開フロー

会場利用日が感染者の発症日から
3日以上後に当たる場合



パターン④：保健所からの連絡無し

パターン⑤：保健所から連絡有、当会場でのクラスター感染が疑われる

陽性者判明時～情報公開フロー

ホームページ上への情報公開のフローに関してまとめております。

フローの目的

- ・主催・会場が連携し、適切なタイミングで情報公開することで、双方が不利益を被るような状況を回避する。

【パターン①】 陽性者の発症日2日前までに、会場のイベントが該当し、保健所調査の結果濃厚接触者がいなかった場合

会場側にて保健所調査の結果、問題無しの旨の文面を作成



該当イベントの主催、リリース当日の利用者へ事前通知



会場ホームページ上で、情報公開

【パターン②】 陽性者の発症日2日前までに、会場のイベントが該当し、保健所調査の結果濃厚接触者がいたが、該当者の感染が不明な場合

会場側にて保健所調査の結果、該当イベントに濃厚接触者に指定された者がおり現在調査継続中の旨の文面を作成



該当イベントの主催、リリース当日の利用者へ事前通知



会場ホームページ上で、情報公開
(保健所の調査の結果によって下記の対応となります。)

→ **A,濃厚接触者から陽性者が現れず、クラスター感染の危険がない場合**

【パターン①】 同様、保健所調査の結果問題がなかった旨の情報をホームページ上で情報公開します。

→ **B,クラスター感染が疑われる場合**

【パターン③】 のフローを参照

【パターン③】陽性者の発症日2日前までに、会場のイベントが該当し、陽性者が多数出ており、当会場でのクラスターが疑われる場合

会場側にて保健所からの指示(消毒など)を含めた、クラスター感染が疑われる、又は発生した旨の文言を作成



該当イベントの主催、リリース当日の利用者へ事前通知



会場ホームページ上で、情報公開



※その後の情報更新に関して

- ・会場側のスタンスとして、基本的にはリリースする情報を主催者と確認し、足並みを揃えて情報をホームページ上にて告知していきます。

【パターン④】陽性者の発症日2日前までに、当会場のイベントが該当せず、保健所から確認の電話がない場合

基本的に、当会場での感染は疑われない為、会場側では情報公開は致しません。

【パターン⑤】保健所からの連絡があり、当会場でのクラスターが疑われる場合

会場側にて保健所からの指示(消毒など)を含めた、クラスター感染が疑われる、又は発生した旨の文言を作成



該当イベントの主催、リリース当日の利用者へ事前通知



会場ホームページ上で、情報公開



※その後の情報更新に関して

- ・会場側のスタンスとして、基本的にはリリースする情報を主催者と確認し、足並みを揃えて情報をホームページ上にて告知していきます。

